

協賛団体会員 各位

財団法人日本規格協会

標準化と品質管理全国大会2010
協賛団体会員優待割引のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業につきましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本規格協会では来る10月18日(月)、19日(火)の2日間、都市センターホテル(千代田区平河町 2-4-1)におきまして「標準化と品質管理全国大会2010」を開催致します。本大会は、標準化と品質管理を推進している各機関及び全国の経営者、管理者、技術者が一堂に会して、講演・発表を通して、相互に研鑽することを目的として当協会が毎年開催しているものです。

本年度は、「グローバル社会における持続的発展を目指して— 変化への対応・適応から、創造へ—」と大会テーマを設定し、全22講演を行います。(プログラムの詳細は、別添パンフレットをご覧ください)。

協賛団体会員の皆様にお申込みいただく場合には、協賛団体会員優待割引価格を適用させていただきますので、この機会に是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

敬具

記

◆◆◆参加申込要領◆◆◆

【期間】10月18日(月)・19日(火) 2日間 / 【会場】都市センターホテル(千代田区平河町)

【参加料】

協賛団体の会員制度にご加入いただいている皆様には、協賛団体会員優待割引価格を適用させていただきます。恐れ入りますが協賛団体会員専用申込書をご利用の上、FAX(03-3582-0698)にてお申込ください。

《協賛団体会員優待割引価格》

◆一般有料2日券 10,500 円 → 協賛団体会員2日券 5,250 円(税込・資料代含む)

※専用申込書以外でのお申込は、協賛団体会員優待割引価格が適用されません。予めご了承ください。

注). 日本規格協会維持会員制度にご加入いただいている会員様には、維持会員特典として1口につき1名様を無料ご招待しております。無料招待券でのご参加は7~8月上旬頃に送付いたします維持会員無料招待券をご利用ください。

以上

標準化と品質管理全国大会2010

協賛団体会員 専用申込書

平成22年 月 日

お申込み受付

FAX : 03-3582-0698

財団法人 日本規格協会 普及事業本部
標準化と品質管理全国大会事務局 行

〒107-8440 東京都港区赤坂4-1-24 TEL:03-3583-8008

<input type="checkbox"/> 会員 (No.) <input type="checkbox"/> 非会員 ※1	
日本規格協会維持会員番号※2:	コード: C0Q300 (—) C0Q301 (N)
会社名	所在地 〒
会社概要: 従業員約 [] 名	
業種 (又は主要製品名):	TEL FAX
派遣責任者	所属・役職
e-mail	

※1: チェックボックスに“✓”が入っていない場合または非会員に“✓”が入っている場合は、一般有料参加申込みとなりますのであらかじめご了承ください。
 ※2: 日本規格協会の維持会員制度にご加入いただいている場合は、維持会員無料招待 (1口1名様) 及び、維持会員割引価格でのお申込みができます。無料招待のお申込みにつきましては、この申込書ではできません。別途無料招待券 (7月下旬以降順次発送予定) でのお申込みが必要となります。
 ※3: 懇親会は参加費が1名様につき2,000円 (税込) 別途かかります。お支払いは当日懇親会会場で承ります。

受講番号	フリガナ氏名	所属・役職	協賛団体会員 有料2日券	懇親会 参加 (18日) ※3 当日お支払
			5,250円	2,000円
			5,250円	2,000円
			5,250円	2,000円
			5,250円	2,000円

派遣責任者に送付 受講者に送付

受講券の送付先 その他 ()
※その他をお選びの場合は、送付先住所・担当者名をご記入ください。

(注) 1: 太枠の中のみご記入ください。5名様以上のお申込の場合は、この申込書をコピーの上ご記入ください。
 2: ご記入いただきました個人情報に基づき、当協会からセミナーや書籍等の各種ご案内を送付させていただく場合がございます。

アンケートのお願い

- ◆各講演の参加予定状況を把握するため、講演時間帯ごとに参加を希望される講演に○をご記入いただきますようお願い申し上げます。
- ◆このアンケートは各講演の参加申込み・予約ではありません。当日は会場をご自由にお選びいただけます。

月日	時間	講演タイトル	チェック欄
10/18	14:05-15:05	企業価値を高める「品質経営」	○
	15:20-16:20	鉄道分野における国際標準化について	○
10/19	9:30-11:00	日産自動車における電気自動車への取り組みについて	○
		東芝テックの製品安全への取り組み～私たちの安心モノづくり～	○
		プロジェクトマネジメントの企業活動へのインパクト—PMの概要と国際標準化の進展が生み出すビジネスチャンス—	○
		異文化対応のマネジメント	○
		REACH規則に基づく新たな製品情報流通基盤の整備	○
	11:15-12:45	技術と知財に勝り国際標準化を主導する日本がなせグローバル市場で勝てないのか—アジアの成長と共に歩む日本型国際標準化の構築に向けて—	○
		味の素における食の安全への取り組み	○
		世界水ビジネスへの標準化アプローチ	○
		JISマーク表示制度、適合性評価と認証取得工場における品質管理責任者の役割	○
	13:45-15:15	消費者行政の課題と取り組みについて	○
		マツダにおける品質工学への取り組み	○
		スマートグリッドの国際標準化活動	○
		コーチングによるリーダーシップ開発—組織の生産性を高める—	○
新興市場向け商品の商品企画と品質保証		○	
経済産業省講演 我が国の工業標準化政策について (仮題)		○	
15:30-17:00	リスクアセスメントを活かす—ISO 31000を踏まえた事業リスク管理の実践—	○	
	『危機の経営』グローバル市場を見据えたものづくり～韓国サムスン電子の躍進から学ぶ～	○	
	リコグループの環境経営	○	
	使用者の教育だけでは済まない誤使用事故—R-Mapを活用して分析—	○	
	平成21年度研究助成成果報告 ● 小集団活動における組織能力の形成 ● 基盤技術を支える若手技術者・学生のための教材開発	○	